

第3回 阿波なでしこ技術サロンの報告



四国建設コンサルタント株式会社
仲間 真紀

Nakama Maki

(総合技術監理部門, 応用理学部門)

1. はじめに

平成 27 年度より始めた徳島県技術士会女性部会（以下、「女性部会」と略記）主催の「阿波なでしこ技術サロン」が本年度で第 3 回目を迎えた。

「阿波なでしこ技術サロン」は、技術系の職場などで働く女子社員や技術者を
目指す女子学生を対象として、気軽に意見交換ができる場を提供することにより、
女性技術者間のネットワークづくりに寄与することを目的として、年に 1 回のペ
ースで開催している茶話会である。

女性部会は、平成 29 年 12 月現在、女性部会のメンバー 8 名で活動している。
女性部会では、「できる者が、できることを、できる時に」をスローガンに、花岡
部会長はじめメンバー全員で和気あいあいと、技術サロン開催にあたっての企画
や準備、運営を「楽しく、わかりやすく、ためになる」活動として行っている。

本節では、本年度の「第 3 回 阿波なでしこ技術サロン」の結果を報告する。



写真 1 なでしこ技術サロンの企画ミーティングの様子

花岡部会長のお宅で、手作りの水羊羹と御抹茶などをいただきました♪

2. 第3回阿波なでしこ技術サロンの実施状況

今回の技術サロンは二部構成とし、第一部は女性部会メンバーによるミニ講演、第二部はワールドカフェ方式によるグループワークを行った。

ミニ講演は、若い年代の参加者が多いことから、職種紹介を講演の主題とした。講演では、建設コンサルタントで働くメンバーと、建設コンサルタントから公務員へ転職したメンバーより、仕事内容の紹介やその職種ならではの面白み、またメンバー自身の人生の節目における選択など興味深い話があった。

グループワークでは、一般参加者に話合いたいテーマを事前に聞いておき、カテゴリーを分けて、グループテーマおよびカフェメンバーを設定した。



写真 2 ミニ講演の様子(1)



写真 3 ミニ講演の様子(2)

表 1 第3回 阿波なでしこ技術サロンの概要

開催日時	平成 29 年 10 月 28 日 (土) 13:30~16:30
開催名	第 3 回 阿波なでしこ技術サロン
開催場所	シビックセンター
主催	徳島県技術士会女性部会
参加対象	技術職を目指す女子学生および女子社員等
定員, 参加費	20 名, 無料
案内形態	案内チラシをメール配信
申込形態	必要事項を記入してメールにて申込
開催形式	・ 第一部：講演 ・ 第二部：ワールドカフェ (A, B, C, D の 4 カフェに分けて行った)
プログラム	第一部：ミニ講演 13:30~14:10 建設コンサルタントの仕事紹介～河川計画屋から～：大寺礼子 農業土木という仕事～民間コンサルと公務員の視点から～：岡本雅美 第二部：グループワーク (ワールド・カフェ方式) 14:10~16:30 自己紹介, ワールド・カフェ体験, 発表, 人気投票, 講評, 感想, アンケート
参加者数	参加者 20 名 (一般参加者 12 名, 技術士 8 名)

表 2 スタッフのワールドカフェでの役割分担

グループ	グループテーマ	カフェマスター	カフェメンバー
Aカフェ	・勉強方法について ・ワークライフバランスについて	仲間真紀	岡本雅美
Bカフェ		武間亮子	花岡史恵
Cカフェ	・職場環境について ・技術士のメリットや技術者になって良かったこと	大寺礼子	馬場弥生
Dカフェ		磯田恵美	小藤美樹

※進行：花岡史恵



写真 4 グループワーク開始



写真 5 和気藹々と会話が弾む



写真 6 Aカフェ発表の様子



写真 7 Bカフェ発表の様子



写真 8 Cカフェ発表の様子



写真 9 Dカフェ発表の様子

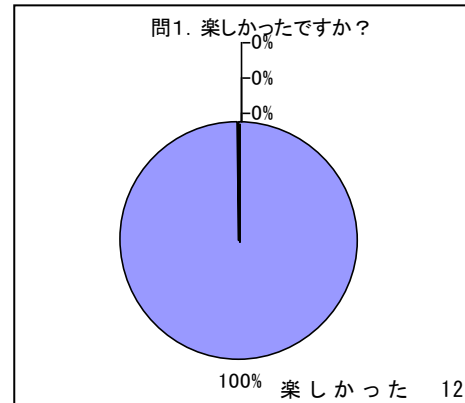
3. アンケート結果と評価

第3回阿波なでしこ技術サロン終了後のアンケート調査結果を元に、今回の技術サロンの評価を行った。以下に、アンケート調査結果をまとめ報告する。

➤ 問1. 楽しかったか？

問1では、今回の技術サロンが楽しかったかどうかについて択一回答を促した。

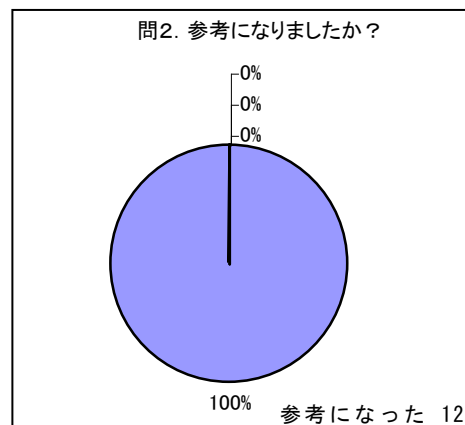
一般参加者 12名全員が楽しかったと回答した。



➤ 問2. 参考になったか？

問2では、今回の技術サロンが自分の方向性の参考になったかどうかについて択一回答を促した。

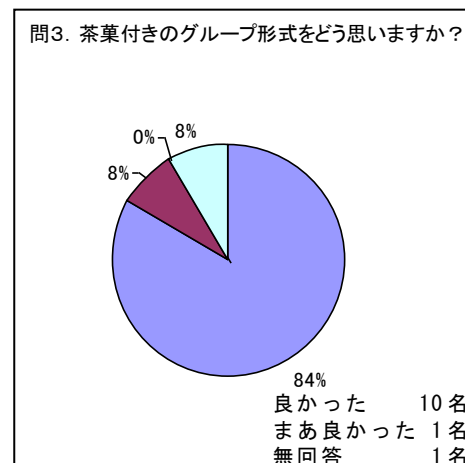
一般参加者 12名全員が参考になったと回答した。



問3. 今回の話合いの形式は？

問3では、今回のようにお茶をいただきながらのグループワークの形式について択一回答を促した。

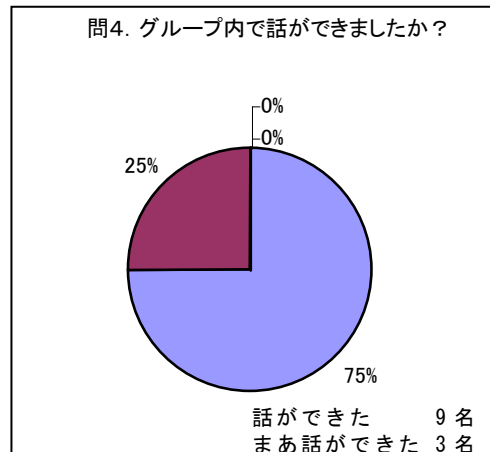
良かったと回答した人は84%(10名)、まあ良かったと回答した人は8%(1名)、無回答が8%(1名)となっており、概ね好評であったと思われる。



➤ 問4. 話ができただか？

問4では、グループ内で自分の話ができただかどうかについて択一回答を促した。

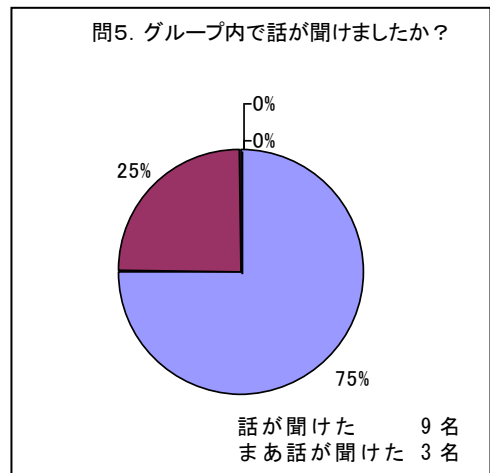
話ができたと回答した人は75%(9名)、まあ話ができたと回答した人は25%(3名)で、話ができなかったと回答した人はいなかった。概ね、全員が自分の話ができただことに満足していることが伺える。



➤ 問5. 話が聞けたか？

問5では、グループ内で他の人の話が聞けたかどうかについて択一回答を促した。

他の人の話が聞けたと回答した人は75%(9名)、まあ話が聞けたと回答した人は25%(3名)で、話が聞けなかったと回答した人はいなかった。概ね他の人の話が聞けたものと思われる。

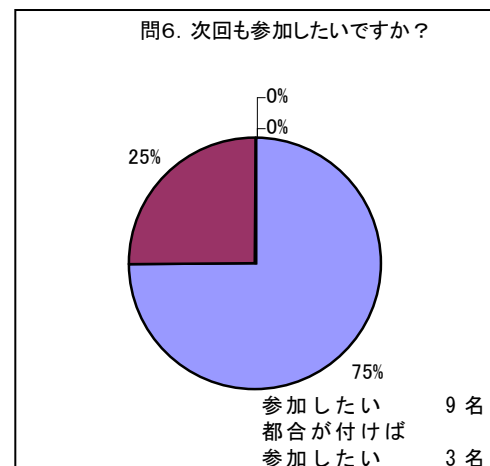


➤ 問6. 次回も参加したいか？

問6では、次回の技術サロンへの参加意向について択一回答を促した。

参加したいと回答した人が75%(9名)、都合が付けば参加したいと回答した人が25%(3名)で、参加したくないと回答した人はいなかった。

参加者の3/4が次回も積極的に参加したいと回答していることが、今回の大きな成果と次回への期待が伺える。

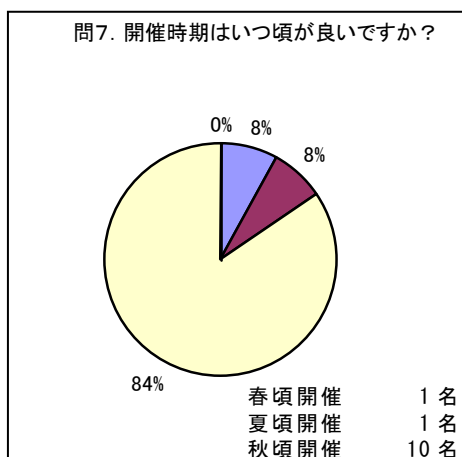


➤ 問7. 開催時期は？

問7では、今後の開催時期の希望について択一回答を促した

春頃(3月～5月)と回答した人は8%(1名)、夏頃(6月～8月)と回答した人は8%(1名)、秋頃(9月～11月)と回答した人は84%(10名)、冬頃(12月～2月)と回答した人はいなかった。

参加者の大半が、今回同様に秋頃の開催を望んでいることが伺える。

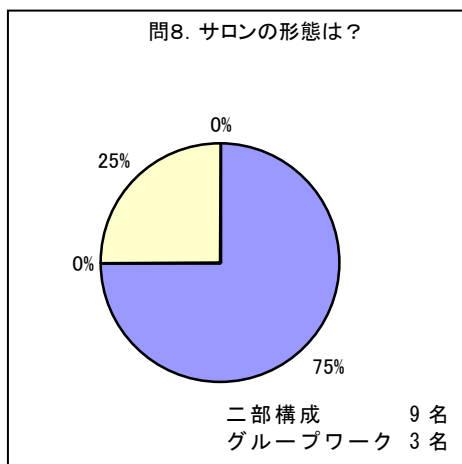


➤ 問8. 今後の開催形態は？

問8では、今後の開催形態について択一回答を促した。

今回のような第一部と第二部の開催が良いと回答した人は75%(9名)、グループで話を深めるとの回答は25%(3名)で、講演と質疑応答やその他と回答する人はいなかった。

ここでは、講演のあるなしに関わらず、グループワークに関しては、全員が必要であると思っていることが伺える。



➤ 問9. 自由意見

問9では、今後の開催に向けての要望等について記述回答を促した。以下にそれぞれの記述について、キーワードを抜粋して記載する。

抜粋キーワード	記述回答
自己紹介タイム	参加人数が20人以下であれば全員の自己紹介があれば嬉しいです
楽しかった	いろいろな話が聞けて楽しかったです とても良い経験になりました。楽しかったです
集まりの機会	女性の集まり、いつもほっこりな気分になって帰れます 女性技術者と話す機会がなかったので参加できてよかったです
グループワークの時間	グループワークの時間がもう少しあれば良かったかもしれません。 途中ちょっと忙しかったです。
今後の話題について	人間関係やコミュニケーションの取り方等をもっと深く知りたいです
トイレ休憩	トイレ休憩を5分ほど設けていただけると、と思います
感謝	いつもありがとうございます ありがとうございました

4. 感想・考察

今回の開催の様子やアンケート回答等を通して、部会メンバーの感想・考察を以下にまとめる。

キーワード	感想・考察
満足度	<ul style="list-style-type: none">プログラムの最後に全員に述べてもらった一言感想とアンケート回答からみても、参加者全員の参加への満足度が伺えて良かった
場づくりの必要性	<ul style="list-style-type: none">日頃から不安や悩みなど、女性が抱える問題を気軽に相談できるサロンの価値は高いのではないかと考える
仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none">女性部会メンバーだけでなく、今まで関わってくれた参加者にも可能な限り意見をもらって、より多くの人に参加できる仕組みの構築が必要である（ゲスト→ホストになれる仕組み：継続につながる）
ミニ講演について	<ul style="list-style-type: none">今回二人の講演としたが、次回から一人の講演として深く話を聞きたい
アイスブレイクについて	<ul style="list-style-type: none">今回雨天のため始まりの時間が少し後に延びたため、自己紹介タイムを削ったが、最初に自己紹介はしっかり行っておいた方が良いと反省
ワールド・カフェについて	<ul style="list-style-type: none">今回もワールドカフェ手法は技術サロンに良く合っていると感じた今回はテーブルにテーマを2つ設けることで全員が各テーマに関わられた今回は席替えが1回で落ち着いた時間的には、最初に自己紹介などが入りあっという間であったが、ちょうど良いと思われたグループメンバーの構成が年齢的にバランスが良く話も引き出しやすかったグループ発表の時間はもう少しあっても良いと思った全体的な発表は1名で行った方がまとまっていて良いと思った
参加者の懇親会	<ul style="list-style-type: none">次回から参加者に希望を募って懇親会を開催するのも良い

5. 反省会

懇親会の終了後、女性部会メンバーで、軽い反省会を行った。まずは盛会であったことを確認し、部会メンバーの感想や参加者のアンケート調査結果を踏まえて、次回開催に向けて調整することとした。

私にとって本会は、会員である女性技術者同士の情報共有やお悩み相談などができる居心地の良い場所である。朗らかであり、また尊敬できるメンバーの方々と共に、肩肘を張らず、これからも楽しく活動していきたい。

謝辞：女性部会の活動にご支援・ご協力くださった理事および会員の皆さまには、この場をお借りして感謝・御礼申し上げます。